

2009年度

科目名	社会福祉援助技術演習 I		
担当教員	畠中 義久、農野 寛治		
配当	教福2(42134214)	コード	24370
開期	通年	講時	火曜日4限
		単位数	4
授業テーマ	社会福祉の専門的援助技術を展開するために必要な知識と技法について、演習形式により実践的に習得する。		
目的と概要	社会福祉援助専門職として身につけるべき基礎的技能としてのソーシャルケースワーク、グループワーク等を展開するために必要な知識と技術について、模擬場面事例等を用いた演習形式で検討しながら、その理解と習得を深める。		
成績評価法	受講態度・筆記試験・課題・演習参加姿勢など、総合的に評価する。		
テキスト	『ワークブック社会福祉援助技術演習』1 山田容編 ミネルヴァ書房 『ワークブック社会福祉援助技術演習』2 山辺朗子編 ミネルヴァ書房		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	授業の演習、課題に積極的に取り組むこと。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1) 社会福祉援助技術における専門性・価値と技法 2) 専門職としての自己覚知 3) ソーシャルワークの価値・P.F.バーステックの7つの原則 4) ソーシャルワークの諸モデル 5) 社会福祉援助における2つの視座・当事者の主観的生活理解と客観的生活理解 6) 社会福祉援助のプロセスと相談援助機関の役割と機能 7) インテーク 8) アセスメント 9) プランニング 10) インターベンション 11) モニタリング 12) エバリュエーションと効果測定 13) アフターケアという課題 14) 社会福祉士としての職業倫理 15) まとめと捕捉・ソーシャルワークにおける面接 16) 社会福祉援助技術における専門性・知識と技法 17) ワーカーの自己対象化と自己活用 18) 社会的な小集団とその力 19) グループワークの価値基盤 20) グループワークの諸モデル 21) グループワークを構成するもの 22) グループワークの準備期 23) グループワークの開始期 24) グループワークの作業機 25) グループワークのプログラム 26) グループワークの終結期 27) グループワークの記録と評価 28) グループワークと社会運動・資源の活用、調整、開発 29) social skills training 社会生活技能訓練 30) まとめと捕捉・グループワークにおける援助関係の構築 			